

【養成する人材／カリキュラムの概要(履修例)／進路 等】

求める人材	歯科衛生士養成機関等の 教員を目指す者	大学院博士課程への 進学を目指す者	高度専門職業人を目指す者
養成する人材	次世代の歯科衛生士／教育・研究の担い手		口腔保健・医療・福祉を指導的・ 中核的に支える高度専門職業人
履修時期	科目	履 修 方 法	

教育・研究系コース

臨床系コース

1年前期	導入科目	口腔保健学導入 ※ 社会人大学院生対象	
1年	基礎科目	共通カリキュラム科目 (2科目:4単位選択) 生命倫理概論, 臨床心理学, 社会医学・疫学・医学統計概論 など	
	基盤科目	口腔保健増進学概論 (2単位必修)	
	特論科目	口腔保健学特論 (2単位必修)	
	専門科目	国際口腔保健学 (2単位選択)	医療福祉学 (2単位選択)
		口腔保健教育学, 口腔予防科学, 高齢者・障害者口腔 機能管理学 など 3科目 (6単位選択)	口腔予防科学, 口腔保健教育学, 口腔機能賦活学 など 3科目 (6単位選択)
口腔保健学教育・研究系課題実習 (6単位必修)		口腔保健学臨床系課題実習 (6単位選択)	
2年	課題専攻科目	口腔保健教育学演習, 口腔予防科学演習 (4単位選択)	口腔機能賦活学演習, 高齢者・障害者口腔機能管理学演習 (4単位選択)
		口腔保健学課題研究演習 (4単位必修)	

修了時に習得 できる能力	<p>科学的探究心を持ち、次世代の歯科衛生士 教育を担うために必要な教育・研究者 としての能力</p> <p>① 問題解決型授業などの新しい教育手法を取り入れた 歯科衛生士教育の実践</p> <p>② 歯科衛生士教育のカリキュラムプランニングへの参画</p> <p>③ 国際化への対応</p> <p>④ 大学, 大学院における教育・研究者になるための基盤</p>	<p>広い視野と全人的な視点に立ち、病院や高齢者 福祉施設、地域福祉などの実践の場において、 高度専門職業人として指導的、中核的な 役割を担うことができる能力</p> <p>① 脳卒中などの急性期リハビリテーション等における 専門的口腔ケア</p> <p>② 摂食・咀嚼・嚥下リハビリテーションにおける 指導的役割</p> <p>③ 口腔機能向上プログラムにおける中核的役割</p> <p>④ 口腔保健の立場から健康増進, 疾病管理への 積極的関与</p>
-----------------	--	---

進 路	歯科衛生士養成機関等の 教員	博士課程への 進学	急性期病院・行政機関等の 高度専門職業人
-----	--------------------------	---------------------	--------------------------------